

# 滋賀県

株式会社ディジ・テック	( 大津市 )	・・・	269
近江化学工業株式会社	( 米原市 )	・・・	270



## ペン型 ハンディターミナルの開発

# 株式会社 ディジ・ テック

滋賀県  
大津市大萱7-3-35

1980年(昭和55年)設立  
TEL 077-545-3939

<http://www.digi-tek.com/>



代表取締役CEO  
阪口 明

ペン型でレーザスキャナを搭載し、小型・軽量・単三アルカリ乾電池1本で180時間稼働の高効率ハンディターミナル。

### ハンディターミナルの開発

同社は、創業当初から企画、設計、開発に強みを持ち、大手家電メーカーや硝子メーカー工場内FA用として制御用コンピューター・システムを開発していた。1988年にハンディターミナルの受託開発・生産を受注し、それ以降、十数年にわたりハンディターミナルの業務に携わる。その技術を基に2001年にペン型ハンディターミナルを開発。以後、自社ブランド製品を順次発売している。

### ハンディターミナルや関連技術を応用した商品展開

同社が開発したハンディターミナルDHT-110シリーズは、ペン型でレーザスキャナを搭載し、小型・軽量で単三形アルカリ乾電池1本で動作する。流通分野はもとより小型の特性を活かし、医療過誤やセキュリティの巡回チェックなどの分野にも活用されている。DHT-200シリーズは、持ちやすさを追求したバランス、デザインで作業疲労を軽減。入在庫棚卸、集配管理、簡易POSなどの様々な業務に使われている。応用製品として計測器用Bluetoothアダプタ「DKA-101」を開発した。



Sparklet

DHT-110



DKA-101



Sparklet

DHT-200N

### 今後は無線を使った応用製品の開発生産も

大手製鉄メーカーと共同で製造現場のIT化に取り組んでいる。今後は、ハンディターミナル以外にもBluetooth、ZigBeeを核にした応用製品の開発販売を推進。新しい技術を取り入れた製品の開発を積極的に行っている。

# 近江化学工業株式会社



代表取締役社長  
竹下 敏隆

石灰石を化学する  
カルシウム添加物メーカー

滋賀県  
米原市長沢1466-5

1961年(昭和36年)設立  
TEL 0749-52-2068

ゴムや樹脂製造用の気泡防止剤は国内シェア75%。インスタントラーメン用食品添加用カルシウムは国内シェア100%。自動車などに使われるフッ素ゴム用の受酸剤は国内シェア80%。

## 自動車産業の隆盛とともに酸化カルシウムで急成長

酸化カルシウム製品は、ゴムや樹脂の製造プロセスで気泡防止剤として広く使われるもので、不良率低減に効果は抜群。自動車部品に関わるため、戦後のモータリゼーションの進展とともに急成長した。

## 精製技術の高さから食品添加用カルシウム市場を開拓

インスタント麺にカルシウムを添加すると食感に張りを与える。また、魚肉練り製品の弾力が増すなど食品添加用カルシウムは、食品メーカーには欠かせない原材料となっている。食品用なので不純物が許されない。食感の要求から粒子の大きさが設計値どおりで均一でなくてはならない。食品添加用カルシウム製造には、このふたつを満たす技術力が必要。

## カルシウム市場でさらなる高品質を追い求めてフッ素ゴム用受酸剤を研究開発

化学工業部門で大手との競合の少ない石灰石加工のニッチな分野に特化して多角化を展開。各部門で高シェアを維持するために、徹底した品質管理と新分野開拓のために研究開発投資を行ってきた。自動車などに使われるフッ素ゴム用の受酸剤は、こうした中から生まれた製品で、国内シェア80%。ニッチに徹底して高付加価値なモノづくりに挑んだ結果だ。

加工工場



製造ライン

